

# 平成18年度 第3回 草加市みんなでまちづくり会議 議事録

## 1. 開催日時

平成18年10月30日(月)午後7時から

## 2. 開催場所

草加市立中央公民館 3階 第一講座室

## 3. 出席者の氏名

- (1) 登録員 8名(別紙)
- (2) 進行 みんなでまちづくり課課長補佐
- (3) 事務局 みんなでまちづくり課課長、みんなでまちづくり課職員 6名

## 4. 会議の議題

「みんなでまちづくり会議を活性化するには」の提案に関する市の反映結果について

## 5. 公開・非公開の別

公開

## 6. 傍聴者

0名

## 7. 会議の概要

### (1) 開 会

進 行

- ・ 会議録署名の指定については、登録番号7番の山崎尉行登録員と、登録番号32番の蓬田敏晶登録員にお願いしたい。

### (2) 議 題

「みんなでまちづくり会議を活性化するには」の提案に関する市の反映結果について  
事務局

- 提案の概略及び市の反映結果説明 資料1参照

進 行

- ・ 提案者である船戸登録員から、ご意見を伺いたい。

提案者：船戸登録員

- ・ 組織を作るといふ、建設的な回答をいただいた。
- ・ 具体的に、組織を構成するのに時期であるとか、メンバーとか、それはこの会議の中で考えてよいのか。

事務局

- ・ 時期、メンバー等については市が準備をする。
- ・ 条例検討の時に懇話会があったが、そのメンバーに参加をお願いしたいと考えている。

- ・ また、登録員の中からも、平成17年から実際に会議に関わってきたので、参加をお願いしたいと考えている。

提案者：船戸登録員

- ・ その会の中で、規則や条例を検討できるのか。

事務局

- ・ 必要であれば検討できる。

提案者：船戸登録員

- ・ なるべく早く、検討に入り、条例等を使いやすいものになればと思う。

登録員

- ・ 条例が検討され、本当に変更できるのか心配している。

登録員

- ・ 条例の中に、5年以内ごとに検証と書いてあるので、それを含めての回答と思う。
- ・ 条例に不都合があるからではなく、検証するという点から、組織を作るといふ事理解でいいのではないか。

登録員

- ・ 速やかに進めてもらいたい。

事務局

- ・ 要綱等の設置や、委員の選定などを、進める準備期間が必要だが、来年度の早い時期にと考えている。

登録員

- ・ 「会議を活性化する」とあるが、何の活性化がよくわからない。

登録員

- ・ 会議の中で、いろいろな意見が出てくる事が、「会議の活性化」と考えている。
- ・ 今までの会議を進める中で、実質的に運用していて問題点が出てきたので、組織で検討していく事ではないか？
- ・ いろんな意見を出し、提案を出していく事で、参加する登録員も増えるのではないか？

登録員

- ・ 検証するということは、規則を見直す、もう一度検討するという事なのか。
- ・ 必要であれば条例も検討するという事なのか。
- ・ 設置した組織が問題なしと判断すればそれで終わりだが、問題があれば市長に答申する。
- ・ それを直すか直さないかは、別の問題ということか。

事務局

- ・ 設置した組織から答申をいただき、答申の内容について検討を行い、必要に応じて見直しを図っていくことになる。

登録員

- ・ メンバー構成や、人数は何名位で考えているか。

事務局

- ・ 10名程度を考えている。

登録員

- ・ 懇話会のメンバーは何名位いたのか。どういった構成だったのか。

事務局

- ・ 市民代表：5名、学識経験者：3名、公募：2名の計10名だった。

登録員

- ・ 今の想定では4月以降に設置を考えているとあるが、期間的にどれくらいを考えているか。

事務局

- ・ 半年程度と考えており、長くても1年、年度内と考えている。

登録員

- ・ いい検討ができると思う。

登録員

- ・ そうなると検証が終わるまでは、今までの通りで進めなければならない。
- ・ 何で登録員が増えないのか？条例がどうやって徹底されていくのか？の答えがない。
- ・ 条例が草加市の最高規範であるという事を知っている市民がどれ位いるのか？
- ・ もっと考えなければならないのではないか。
- ・ お役所的なやり方でいいのか。このやり方で本当によいのか？

登録員

- ・ これは希望であるが、出来れば、メンバーには行政も議員も参加し、一緒に議論をした方がよいのではないか。
- ・ 検証となると、規則等は行政が作成したので、内容が良くわかっているはずだから、行政と一緒に議論する事が必要だと思う。
- ・ 事務局では、発言する機会がなくなってしまう。
- ・ 議員は、条例を可決したのだから、これから検討する内容についても知っていた方がいい。だから、議員の参加も必要である。

提案者

- ・ 同意見である。

進 行

- ・ それでは、今回の反映結果についてご了承をいただいたということによろしいか。

反対拳手なし

進 行

- ・ 全員合意ということで、今回の反映結果について早急に検討し、対応していきたい。

### (3) その他

進 行

- ・ 平成17年度第3回の会議で提案され、第4回の会議で反映結果を回答した内容：「瀬崎蒲原公園再生事業」について、工事のスケジュールが決まった。
- ・ 提案者であった瀬崎まちづくり市民会議から報告していただきたい。

提案者：瀬崎まちづくり市民会議

- ・ 瀬崎蒲原公園の再生事業について、市の担当課との協議を含めて現在までの進捗状況を瀬崎まちづくり市民会議から報告をさせていただく。＜以下、別添資料2の説明＞

登録員

- ・ 今回の公園がどのような予算で行われるのか知りたい。

登録員

- ・ 広報などに結果として、落札がどこで、金額がいくらかなど、発表できるはずではないか。
- ・ 草加市はこのようにまちづくりをやっています、とお知らせしたほうが、活性化につながるのではないか。

進 行

- ・ ご提案いただいている周知方法として、見開きの広報特集号の発行を考えている。
- ・ 広報担当と日程を調整して、年度内にはご案内する予定でいる。

登録員

- ・ 工事をする前に、こういう公園になるという看板を、公園内に設置してアピールするなどはどうか。
- ・ 看板等でアピールすれば、活性化の一つの手段になり、少しずつ市民にも周知できるのではないか。

事務局

- ・ 市役所のホームページでも載せていきたいと考えている。
- ・ 市民の提案を受けて、その結果を周知アピールすることは必要だと考えている。

登録員

- ・ 予算がないということだが、いろんな折衝をやってきている。そういう経過を、いろんな人に見てもらいたい。
- ・ 県のお金も入っているらしい。情報公開の時代で、市も努力して市のお金だけでなく、こんなお金も使ったというアピールも良いのではないか。
- ・ 市民から、市もがんばってくれているとなるのではないか。

提案者：瀬崎まちづくり市民会議

- ・ お金をかけたと言われるより、いいものができたと言われるといい。

登録員

- ・ 公園でも軽スポーツができるような所も増えてきているようだ。

登録員

- ・ 瀬崎は、ボール遊びを工場ですべて子供が死んでしまった経緯がある。
- ・ 子どもが遊ぶスペースがなかった。
- ・ そこで、第1期工事に軽スポーツができるスペースをつくる事を、一番最初に持ってくるようにかけあった経緯もあった。
- ・ 決して一部のグループが使えるではなく、いろんな人が使えるような公園にしたい。

登録員

- ・ 完成まで、しっかりアピールして欲しい。

進 行

- ・ これで、平成18年度第3回のまちづくり会議を終了する。

以 上

署名登録員

署名登録員